

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

**2026年度 東海大学付属学校推薦型選抜
特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・学力推薦による**

368名の推薦候補者決定、おめでとう!

剣道部 春山 つくしさん インターハイ出場!

水泳 三井 陽菜乃さん 全中出場!



2025年5月31日(土)に児童教育学部児童教育学科、6月28日(土)に医学部医学科、7月5日(土)に医学部看護学科の適性審査が実施されました。これらの審査結果を含めて、2026年度東海大学付属推薦制度を利用した特別奨励入学候補者が発表され、今年度は61名(2025年7月18日現在)の生徒が特別奨励入学候補者になりました。特別奨励入学制度は、高校1、2学年の学業成績の平均が7.5点以上かつ高校3学年の学園基礎学力定着度試験の学園順位が350番以内(2025年度は4,772名受験)の生徒が対象になります。つまり、普段からしっかりと学習に取り組んでいる生徒が選出されることになります。

特別奨励入学の候補者に対しては、12月1日(月)の付属学校推薦型選抜合格者発表が行われると、正式に特別奨励入学者に決定して学業奨学金が付与されます。

高校1、2年生の皆さんも、ぜひ特別奨励入学を目指して頑張ってください。

以下に、第1回目の特別奨励入学候補者となった61名の皆さんを紹介します。

特別奨励入学候補者氏名(クラス順)

北川 琉名	高須 悠河	徳宿 夏真	足立 佑斗	五十嵐文弥	岩岡 珠実	川端 康治	齋藤 匠
嶋田 力輝	高橋 徠空	武井 怜樹	田中 大智	佐々木陸翔	佐藤 亜美	島田 麻央	高居 修仁
濱口康太郎	藤本 歌音	新井 琉仁	入江 環太	小暮 海優	小山 隼汰	能勢 春日	大場 琉生
炭田 真一	高田 悠人	田中 陽菜	石ヶ森鉄平	伊藤 菜穂	齊田つむぎ	榊原 駿	鈴木 励
中島 一咲	加藤 和奏	兼田 歩海	佐藤 涼	杉本 一香	高内 歩佳	三浦 淳也	山田 直弥
石崎 礼途	中本 晴乃	牧山 陽一	味方 大哲	稲田 颯大	高塚 知希	細川 大輝	青木 桜菜
犬塚 湘平	色川 春花	植木 崇心	梶山紗也香	齊藤 祐希	相馬 希美	田中 翔海	西川 天賦
野邊 音希	藤崎 司	八木 綾華	山口 琴未	屋良 亜美			

2026年度 東海大学付属学校推薦型選抜

特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・学力推薦による

368名の推薦候補者決定

2025年6月13日(金)に2026年度東海大学付属学校推薦型選抜による推薦候補者の発表がありました(適性審査を要する児童教育学部児童教育学科は6月13日、医学部医学科は7月11日、医学部看護学科は7月18日、工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻は9月1日に発表)。本号の表紙で紹介したように、特別奨励入学候補者として決定した61名以外にも、特別技能推薦で13名、特別学力推薦で277名、学力推薦で17名の合計368名の生徒が推薦候補者として発表されました(2025年7月18日現在)。

推薦候補者となった生徒は、今後11月6日(木)の学園高大連携総合試験や翌7日(金)の小論文試験に向けて油断することなく学習を継続して、12月1日(月)の合格発表に備えてください。

特別奨励入学推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)	進学予定先	学科別人数(名)
国際学部 国際学科	3	情報理工学部 情報科学科	1
経営学部 経営学科	7	情報理工学部 情報メディア学科	1
観光学部 観光学科	3	建築都市学部 建築学科	4
情報通信学部 情報通信学科	3	工学部 電気電子工学科	1
政治経済学部 経済学科	3	工学部 医工学科	4
文化社会学部 北欧学科	1	工学部 生物工学科	2
法学部 法律学科	2	医学部 医学科	3
児童教育学部 児童教育学科	2	医学部 看護学科	7
体育学部 体育学科	1	海洋学部 海洋理工学科 航海学専攻	1
体育学部 競技スポーツ学科	2	海洋学部 海洋生物学科	3
体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科	3	国際文化学部 地域創造学科	1
理学部 数学科	1		
理学部 情報数理学科	2		

特別技能推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)	進学予定先	学科別人数(名)
体育学部 体育学科	1	体育学部 生涯スポーツ学科	1
体育学部 競技スポーツ学科	4	文理融合学部 地域社会学科	1
体育学部 武道学科	2	国際文化学部 地域創造学科	4

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)	進学予定先	学科別人数(名)
国際学部 国際学科	29	文学部 文明学科	1
経営学部 経営学科	19	文学部 歴史学科 日本史専攻	3
観光学部 観光学科	21	文学部 歴史学科 西洋史専攻	3
情報通信学部 情報通信学科	26	文学部 日本文学科	2
政治経済学部 政治学科	9	文学部 英語文化コミュニケーション学科	2
政治経済学部 経済学科	16	文化社会学部 アジア学科	1

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)	進学予定先	学科別人数(名)
文化社会学部 ヨーロッパ・アメリカ学科	3	情報理工学部 情報科学科	1
文化社会学部 文芸創作学科	1	情報理工学部 コンピュータ応用工学科	1
文化社会学部 広報メディア学科	5	情報理工学部 情報メディア学科	6
文化社会学部 心理・社会学科	11	建築都市学部 建築学科	21
法学部 法律学科	5	建築都市学部 土木工学科	1
教養学部 人間環境学科	5	工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻	2
教養学部 芸術学科	8	工学部 電気電子工学科	1
児童教育学部 児童教育学科	10	工学部 医工学科	5
体育学部 体育学科	3	工学部 生物工学科	8
体育学部 競技スポーツ学科	1	人文学部 人文学科	2
体育学部 生涯スポーツ学科	4	海洋学部 海洋理工学科 海洋理工学専攻	2
体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科	3	海洋学部 海洋理工学科 航海学専攻	1
健康学部 健康マネジメント学科	18	海洋学部 水産学科	3
理学部 数学科	1	海洋学部 海洋生物学科	2
理学部 情報数理学科	3	文理融合学部 経営学科	3
理学部 物理学科	1	生物学部 海洋生物科学科	1
理学部 化学科	2	ハワイ東海インターナショナルカレッジ	1

学力推薦候補者

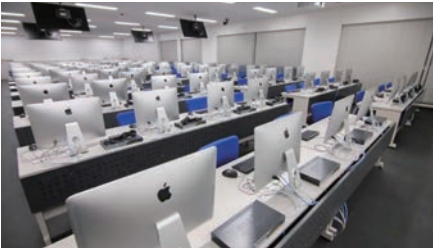
進学予定先	学科別人数(名)	進学予定先	学科別人数(名)
政治経済学部 政治学科	1	工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻	1
文学部 英語文化コミュニケーション学科	1	工学部 機械工学科	1
文化社会学部 北欧学科	1	工学部 電気電子工学科	1
文化社会学部 文芸創作学科	1	工学部 生物工学科	2
法学部 法律学科	3	海洋学部 水産学科	1
教養学部 人間環境学科	1	文理融合学部 経営学科	1
健康学部 健康マネジメント学科	1	生物学部 海洋生物科学科	1

※2025年7月18日(金) 現在

「2026年度 東海大学付属学校推薦型選抜適性審査」の結果は
来月号でご紹介します



湘南キャンパス



品川キャンパス



静岡キャンパス(望星丸)

2025年度学校運営方針

今回は、今年度の実践目標の中から、「理系・文系に偏ることなく、基礎学力の定着を図る」についてご紹介いたします。

実践目標

理系・文系に偏ることなく、基礎学力の定着を図る

「理系・文系に偏ることなく、基礎学力の定着を図る」という目標は、東海大学の創立者松前重義先生（1901～1991）が当時の文部省に提出した大学の設立許可申請書にある「**人文科学と自然科学の融合による確固たる歴史観、国家観、世界観を把握せしめる**」という「**文理融合**」の教育理念を基にしています。松前重義先生が生きた時代は世界規模で戦争が行われていた時代で、科学技術の発達に伴い、破壊力、殺傷力の高い兵器が開発され、その被害も甚大なものとなりました。当時の日本も戦争で多くの人が命を失いました。この教育理念は「科学技術は人類の幸福のためにあるものである。しかし、その取り扱いを間違えると人類を破滅へと導く。国の行方も人類の将来もこれに関わる人間の思想に左右される」という考えに基づくものです。

この理念に従い、東海大学は文系・理系含め23学部62学科・専攻体制で教育を展開しています。これだけの学びの場を持つ大学は日本にはほとんどありません（他の大学で学べることは、ほとんどすべて東海大学で学ぶことができます）。だからこそ、その付属校である本校では、中部部・高校時代に生徒たちは思い思いに部活動や興味あることに打ち込み、知識を身につけるだけでなく、人間性を磨き、有意義な学校生活を送って東海大学の中に自分が学びたいことを見つけることができます。

本校では、高校2年生から文系・理系に分かれたクラス編成で教育を行います。受験指導に重点をおいた学習指導をする必要がないので、履修科目については幅広い知識やものの考え方を身につけるために、極端に偏ることなく、文系の生徒も理系科目を理系の生徒も文系科目を学ぶことができるように設定しています。ただ単に、知識を学ぶのではなく、生徒たちが、**学んだ知識や学ぶ過程で身につけた「考える力」「問題を解決する力」**を使って、社会に出て経験する困難を解決しながら豊かな人生を送ることができることを目標としています。

本校では、東海大学の教育理念の基、中部部から大学までの一貫教育を通じて、社会を生きていくために必要なことを学び、学んだことを正しく活用するためのしっかりとした「ものの考え方」を身につけ、社会で必要とされる人材の育成をめざして教育活動に取り組んでいます。

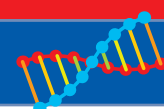
★以下に、松前重義先生の「文理融合」の教育理念の一部を紹介します。ぜひ、学校法人東海大学のホームページの「松前重義と建学の精神」をご覧ください。

松前重義と建学の精神

松前は、天然資源に恵まれない日本が世界に貢献していくには、独創的な技術開発による科学技術立国の道を歩むほかはない、と考えていました。しかもその科学技術は人類の幸福のためにあるべきものだ、との思いは、広島の実爆調査などの体験からますます強くなっていました。もはや科学技術は、扱い方を間違えれば人類を破滅に導くほどの力を持つに至ったのです。

そして、国の行方も人類の将来も、これに携わる人間の思想に左右されることを身をもって体験した松前は、かねてからめざしていた「思想を培う教育、文科系と理科系の相互理解をめざした教育」を東海大学のなかで実践していきます。

●<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/matsumae-spirit/>
「世界の中の日本を思う——科学技術立国をめざして」より



SSH活動報告



7月12日に福井県立若狭高校で行われた「Wakasa International Science Forum」に1名、7月17日に新潟県新潟市民文化会館で行われた「芝高課題研究発表会」に1名、7月18日に山形県立東桜学館高校で行われた「START2025」に1名、7月19日に名古屋の名城大学で行われた「東海フェスタ」に2名の3年生が参加しました。それぞれの研究発表会に参加した生徒の感想をご紹介します。



若狭高校での英語発表

若狭での経験

私は福井県立若狭高校で行われた、英語での発表会に参加させていただきました。初めての外部発表であり、英語での口頭発表だったため、多くの先生方にご指導いただきながら発表の準備を進めました。当日は若狭高校や台湾、フィリピンからの生徒など、たくさんの人の前で発表を行いました。質疑応答では英語を正確に聞き取ることができず、うまく答えることができない場面もありました。想定していない質問にも即座に応答する力が必要であると強く感じました。また他校の生徒の発表では、さまざまな着眼点や手法の研究があり、どれも興味深いものでした。新たな視点や課題を見つけ出すことができ、とても貴重な経験になりました。この経験を活かして、もう一度自分の研究を見つめ直し、これからも研究に取り組みたいと思います。

3年10組 相馬 希美



新潟田高校での英語発表

初めての外部発表会

今回、新潟県立新潟田高校主催の発表会で、英語の口頭発表を行いました。発表を通じて、自分では気づけなかった視点や、改善・補充すべき点をご指導いただき、今後の研究活動に活かしていきたいと感じました。また、新潟の皆さんはとても温かく、優しく接してくださいました。他の参加者の研究発表も非常に興味深く、多くの学びがありました。自分にはまだまだ知らないことや足りない点が多いと改めて実感したので、これからは今の研究をより深めながら、他分野にも視野を広げて主体的に学び、研究に取り組んでいきたいです。

3年10組 八木 綾華



東桜学館高校での英語発表

START2025で学んだこと

今回、山形県立東桜学館高校で行われた英語発表会に参加させていただきました。英語での発表だったため、発表原稿の作成だけでなく、質疑応答に備えて想定される質問をリストアップし、繰り返し練習を行いました。その結果、本番の発表では大きなミスもなく、自分の研究内容を伝えることができました。しかし、質疑応答ではやや緊張してしまい、思うように言葉が出てこない場面もありました。それでも最後まで諦めずに対応することができ、自分なりにベストは尽くせたと思います。発表会では似たようなテーマに取り組む他の参加者の発表を聞くことで、自分の研究との共通点や違いを見つけることができ、非常に良い刺激になりました。参加者同士で意見を交わす時間もあり、多くの学びや新たな視点を得ることができたのは貴重な経験でした。今回の経験を通じて得た反省点や自信を、今後の実験・研究活動にしっかりと生かしていきたいと思っています。

3年10組 山口 琴未

東海フェスタを終えて

今回、私は自分の研究をポスターにまとめて発表するという、貴重な体験をすることができました。発表を聞いてくださった方からは、自分では思いつかなかった視点や質問をいただき、とても参考になりました。特に、データの見せ方や説明の順番についてのアドバイスは、今後の発表に生かしていきたいと思っています。また、他の人の発表を見ることで、自分の研究と共通するテーマや考え方があることに気づきました。例えば、使っている資料の集め方や、グラフの工夫など、勉強になる点がたくさんありました。このフェスタを通して、自分の研究をさらに深めるためには、他の人の意見を聞いたり、違う考え方に触れたりすることがとても大切だと感じました。今回の経験を今後にとっけつなげていきたいです。

3年10組 田中 翔海



ポスター発表

プレゼンテーションで見た課題

スライドを使って自分の研究を口頭で発表するという経験を通して、伝えることの難しさを実感しました。自分ではよくわかっているつもりでも、聞き手にわかりやすく伝えるには、話す順番や言葉の選び方にもっと工夫が必要だと感じました。特に質疑応答の場面では、質問の意図を正確に読み取り、それに対して的確に答えることの難しさを強く感じました。準備不足な部分もあり、もっと深く実験を理解し直す必要があると思いました。また、他の人の発表を見て、スライドの使い方や説明の仕方など、自分の発表にも取り入れたいと感じる場面が多くありました。今回の経験を通して、研究を進める力だけでなく、それを相手に伝える力も大切だと学びました。次の発表では、よりわかりやすく、自信を持って話せるように準備を重ねたいです。

3年10組 増田 大智



口頭発表

部・同好会活動報告

チアダンス

The Summit 2025 チアリーディングにて第2位、第4位に入賞

世界大会に出場しました！

2年7組 正田 美緒



私は、5月2日にフロリダのディズニーワールドで行われたチアリーディングの世界大会「The Summit 2025」において、2チーム掛け持ちで出場し、第2位、第4位という成績を収めることができました。昨年秋の国内大会「JAMfest JAPAN」ではノーミスの演技を成功させ、世界大会への出場権を獲得しました。その後は自分たちの納得のいく演技ができず苦しんだ時期もありましたが、発表会や壮行会では安定した演技を披露し、自信を持って現地入りできました。1位を取りたかったので悔しい気持ちはありますが、この海外遠征で学んだことを今後の人生に活かせるようにしたいと思っています。

部・同好会活動報告

陸上競技部

第78回南関東高校総合体育大会陸上競技大会 出場

経験を糧にその先へ

部長 3年1組 松本 拓也

6月に栃木県で行われました、南関東総合体育大会に4×400mRで出場しました。最初で最後の関東大会、力の限りを尽くすために練習してきましたが、結果としては予選敗退で、圧倒的な力の差を目の前に手も足も出ませんでした。主将としてチームを引っ張らなければいけない立場ながら、初めての大舞台で思うように力を発揮できず、悔しい思いで終えてしまいました。しかし、みんなでつらい練習を乗り越え、戦い抜いた経験はチームのかけがえのない財産となるはず。1年生の頃から目標にしていたインターハイ出場は叶いませんでした。この夢は、僕の素晴らしい後輩に託したいと思います。後輩たち3人と走れたこの経験を胸に、最後の試合まで怪我なく駆け抜けます。応援をありがとうございました。

初めての関東大会を終えて

副部長 3年9組 櫻井 蒼大

南関東総合体育大会に男子三段跳で出場しました。私は昨年の都新人大会で関東大会へ進めなかった悔しさから、絶対にインターハイへ行くと決意し、そこから陸上に対する意識が変わりました。毎日のように整体に通い、朝のウエイトトレーニングや合宿など厳しい練習にも取り組みました。5月の都総体では6位に入賞し関東大会の切符を掴むことができ、昨年の悔しさを晴らすことができました。南関東大会では素晴らしい会場で気持ちも高まりましたが、雰囲気のにまれて自分本来の跳躍ができず、予選敗退という結果に終わり、インターハイ出場は叶いませんでした。しかしこの経験は人生の財産です。応援してくださった皆様に申し訳ない気持ちでいっぱい。支えてくださったすべての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

関東大会を終えて

2年1組 須藤 吏菜

南関東総合体育大会に女子800mで出場しました。関東大会への出場は今回が初めてで、とても貴重な経験になりました。自己ベスト記録を更新できたことは大きな成果でしたが、周囲の選手のスピードについていけず集団から離れてしまい、順位は悔しい結果となりました。いつも支えてくださる先生方やチームの仲間、家族への感謝の気持ちを忘れずに、次の大会では悔いのない走りができるよう、自信を持ってスタートラインに立てる自分を目指し、練習を頑張ります。応援をありがとうございました。



ダンス部

第十五回全国中学校ダンスドリル選手権大会

HIPHOP女子部門 Small編成 優勝

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2025

HIPHOP男女混成部門 Large編成 第3位・Best Overall Technique受賞
Miss Dance Drill Team部門 出場



【中部 HIPHOP部門 Small編成】

中部最後の大会

中部部長 3年B組 長縄 海夕

私たち中部3年生は、7月25日に駒沢オリンピック公園 屋内球技場で行われた全国大会に出場させていただきました。そこで私たちは、目標としていた中部ダンス部初の優勝を取ることができました。このような結果を得られたのは、コーチをはじめ、支えてくださった先輩方、後輩、先生、家族、すべての方のおかげです。これまで多くのめめ事や出来事があり、泣くこともあれば笑うこともありました。そのすべてが私たちを強くしてくれて、どんなことがあっても8人全員が諦めずに進んでくれたことが、結果につながったと思います。中部最後の大会を良い結果で終えることができ、感謝しています。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

【高校 HIPHOP部門 Large編成】

悔いのない8カ月間

高校部長 3年1組 木阪 風南

私たち高校ダンス部は、全国高等学校ダンスドリル選手権大会2025に出場させていただきました。結果は3位で、さらにBest Overall Technique賞をいただくことができました。優勝を目指していた分、悔しい結果となってしまいました。しかし、全員が楽しく悔いの残らない演技をできたことが、何よりも嬉しいです。この8カ月間たくさん壁にぶつかり、くじけそうになりましたが、顧問の先生、コーチ、保護者の方々、後輩たちが最後まで私たち18人のことを支えてくれたからこそ、ここまで走り切ることができました。3年生の大会に向けた活動はここで終了となってしまいますが、引退までの残りの期間でさらにパワーアップして、たくさんの方に感謝と感動を与えられるようなチームにしていきたいと思います。ぜひ建学祭、定期公演を見に来てくださると嬉しいです。応援をありがとうございました。



【高校 Miss Dance Drill Team部門】

新たな挑戦

高校ダンスリーダー 3年2組 秋間 柚季江

私は高輪台で初のMiss Dance Drill Team部門に出場させていただきました。そこでは、ダンス審査の他にモデリング審査とスピーチ審査があります。私はその総合得点でファイナル出場を獲得することができました。普段HipHopを中心に活動しているため、全く異なるジャンルのソロ部門へ挑戦することはとても心細くて不安な気持ちでいっぱいでしたが、これまで支えてくれた仲間や先生方のことを思い出し、自分らしい踊りを最後までやり切ることができました。最終審査まで残ることはできませんでしたが、結果だけでなくこの挑戦を通して得られた経験や自信は、これからのダンス人生にとって大きな財産になったと感じています。大会は終わってしまいましたが、今後も自分の可能性を信じてさまざまなことに挑戦し続けます。応援をありがとうございました。



部・同好会活動報告

男子
バレーボール部

インターハイ予選 東京都ベスト4

夢へ努力

3年2組 小泉 和希

私たち男子バレーボール部は、関東大会予選に引き続きインターハイ予選でも東京都ベスト4という結果を残すことができました。このような結果を残すことができたのは素直に嬉しいです。ですが、もう少し頑張ることができれば全国大会に出場することができたと思うと、とても悔しいです。この悔しさを忘れずに夏休みに部員全員で一生懸命努力したいと思います。そして次の大会の春高予選では、東京都で3位以内に入って初の全国大会に出場できるように、部員全員で頑張りたいと思います。春高予選も応援をよろしくお願いします。



剣道部

インターハイ出場

全国の舞台

3年7組 春山 つくし

8月7日から10日にかけて広島県で行われた、令和7年度全国高等学校総合体育大会 剣道競技の女子個人の部に出場しました。初めて全国大会に出場させていただいたのですが、会場はとても広く独特な緊張感に包まれており、その雰囲気にもみ込まれてしまい、自分の力を出し切ることができずに初戦敗退という悔しい結果で終わりました。この経験は、私の剣道人生において大きな財産になりました。大学でも剣道を続けていくので、今回の全国大会の経験をこれからの稽古に活かしていきたいと思います。遠方から応援に来てくださった校長先生、部員やOB・OG、多くの方々からたくさんの温かいご声援をいただきました。ありがとうございました。



前列左から4番目が春山さん

中等部合唱祭

7月14日(月)、中等部の合唱祭が行われました。各賞の受賞者・クラスをご報告いたします。

金賞



3年A組

あなたへ 一旅立ちに寄せるメッセージ

私のクラスは、練習を始めた頃は音程やリズムが全く合いませんでした。しかし、音楽の授業や朝、放課後練習を何度も繰り返すうちにみんなの意識が金賞に向けて変わりました。私は指揮者としてクラスの成長にとっても感動し、一緒に頑張ろうという気持ちで練習に励みました。本番では緊張している人もいましたが、歌っているうちに一人ひとりの熱意が伝わってきて、最後の方は全員笑顔で歌い切ることができました。3年間で一番納得のいく合唱ができたと思います。(押田 陸)

金賞



3年B組

群青

私たちのクラスは、本番の一週間前までなかなか声が揃わなかったり、テンポが合わなかったりして、本番はうまくいくか不安で、正直A組に負けるかもしれないと思っていました。しかし、練習を重ねるうちに、だんだんクラスの気持ちが一つになっていくのが感じられ、本番では、今までで一番きれいなハーモニーを響かせることができたと思います。金賞受賞も嬉しいですが、結果だけではなく、全員で一つの音楽を作り上げたという達成感が何よりも思い出です。(相澤 子龍)

銅賞



2年B組

キミのもとへ...

私は今回初めて指揮者を担当しました。最初は、指揮の振り方もわからない、みんなをうまくまとめられず、苦戦しました。2年B組が取った銅賞は、練習を見てくれた先輩や先生、朝練習に協力してくれた保護者、いつも声をかけてくれたパートリーダー、一生懸命歌ったクラスのみんなの力が合わさって取れた銅賞です。私は、このたくさんの人の力が重なって取れた銅賞のクラスの指揮者になって、とても嬉しかったです。(鈴木 ことみ)

指揮者賞

3年B組 三井 陽菜乃

私は中等部最後の合唱祭で初めて指揮をしました。最初は、曲のテンポや強弱をクラスのみんなにうまく伝えられず、表現の仕方にとっても苦戦しました。ですが、クラスのみんなからいろんなアドバイスをもらい、伴奏者の杉本さんとたくさんの練習を重ね、試行錯誤を繰り返すうちに少しずつ伝えられるようになりました。うまくいかないこともたくさんありましたが、B組のみんなで金賞、さらには指揮者賞と伴奏者賞もいただくことができてとても嬉しかったです。

伴奏者賞

3年B組 杉本 愛莉

私は今回の合唱祭で初めて伴奏を担当しました。部活動での大会も控えていて、練習するのが大変で、きちんと弾けるか不安でしたが、指揮者とクラス全員の歌声とピアノを合わせることを第一に考えて練習し、本番に臨みました。その結果、クラス全体で金賞、その上伴奏者賞をもらうことができました。初めての伴奏で、とても緊張しましたが、後悔は全くありません。改めて、この合唱祭に向けて支えてくださった音楽の先生方、クラスのみんなに感謝を伝えたいです。

伴奏者賞

2年B組 阿部 竜弥

今回の合唱祭で伴奏者賞をもらい、とても大きな達成感と嬉しさを感じました。練習では、指揮者と息が合わなかったり、伴奏を間違えてしまったりと苦労することもありましたが、仲間と何回も音を合わせの中で、徐々に一体感が生まれ、本番では失敗することなく、心を込めて演奏できました。賞の発表では、心の中でたくさん祈りました。銅賞で2年B組、伴奏者賞で自分の名前が呼ばれた時は、泣きそうなくらいに嬉しかったです。



学年だより 中1

合唱祭



7月14日に合唱祭が行われました。1年生は、初めての合唱祭でしたが、クラスで協力しながら練習に取り組みました。本番での、先輩たちの様子を見て、来年に向けての目標ができました。



A組「あすという日が」

初めての合唱祭

椿 賢亮

私は、先日にあった合唱祭で指揮者をしました。緊張しましたが、みんながきれいな声で歌ってくれたのが、とても嬉しかったです。

私が特に指揮をする時に気をつけたことは、みんなの声をよく聞いて、リズムを取ることを意識しました。しかし最初からできたわけではなく、失敗ばかりしていました。それでも何度も練習を重ねたので、当日は自分の中で一番うまく指揮をすることができました。

また今回の合唱祭では、2年生や3年生のレベルの高さを実感しました。さらに指揮者の難しさと楽しさを感じることもできました。今回は賞を取れなかったのですが、来年は、2年生や3年生を見習い、賞を取れるように頑張りたいです。

伴奏から見た合唱祭

永井 幸太郎

私は、6月からずっと伴奏の練習を続けてきました。「失敗したらどうしよう」という不安を感じながら、自分の時間を削って、練習しました。

また、最初はクラスの練習でもふざけたりする人がいて、集中して行うことができませんでした。本番が近づいてくると自分の伴奏に集中できるようになりました。歌っている人たちの声がだんだんと大きく出せるようになってきて、クラス全体がやる気満々といった様子でした。

本番では、練習の成果を出せて、一つのミスもなく演奏することができました。すごく大変なことばかりでしたが、個人的には満足な結果で終わることができました。



B組「大切なもの」

楽しかった合唱祭

岡本 康佑

私は、今回の合唱祭で大役の指揮者をやらせていただきました。練習中、楽しいと感じたこともたくさんありました。が、つらいと感じたこともありました。

指揮者は初めてやったので、難しいと思うことがたくさんありました。練習でも、なかなか意見が伝わらなかったり、まとめたりすることができなくて大変でした。ですが、全体の声がすべて合わさった時や、最初から最後まできちんとやり切れた時は、とても楽しいと感じました。

来年は、伴奏者という新しいことに挑戦したいです。また、クラス替えをした新しいクラスで、銅賞を目指したいと思います。

努力した合唱祭

藤森 亜美

私は、合唱祭のピアノの伴奏をしてよかったと思いました。最初は不安や、少し練習に対して面倒くさいと思って嫌々やってしまっていました。しかし練習をするにつれ、クラスメイトの歌へ向く姿勢や、パートごとに努力してうまくなっていく歌声を聞いて、自分もこの歌に合ったピアノを弾かなくては、と思うようになっていきました。

練習の時に並ぶのが遅かったり、ふざけたりしている人がいてもめてしまったこともあったけれど、合唱祭本番では、今までの努力をそれぞれが発揮できたと思いました。初めての合唱祭で、3位以内を取ることはできなかったけれど、今回の合唱祭で身につけたことを、日々の生活に活かしていきたいです。



学年だより 中2

合唱祭



先日、中部部の合唱祭が行われました。例年よりも早い時期での開催でしたが、音楽の授業や放課後、朝練習などを積極的に行い、本番に臨みました。

A組 「時を越えて」

梅野知子 作詞・作曲

この曲は、迷いながらも前に進もうとする10代の姿や、未来に向かう力強い想いが込められています。「この瞬間がいつかきつと」「君が生きていく力に変わる時が来るから」という歌詞には、未来の誰かを支える「時を超えたエール」として2年A組の歌声で表現しました。

小沢 奈映

私は合唱祭で、指揮者を務めました。普段吹奏楽部でフルートを吹いています。音楽のことは他の子に比べたらわかっていると思っていました。しかし合奏と合唱は全然違ったもので、人の声を調節する役割は、本当に難しかったです。

指揮をしていると、クラスの変化を一番に感じられます。中でもみんなのハーモニーが奏でられた時は、とてもきれいで感動しました。結果は賞がもらえなくて残念でしたが、2年A組が一つになれる貴重な時間を得られました。



B組 「キミのもとへ…」

吉野莉紗 作詞／松井孝夫 作曲

この曲は、2011年に起きた東日本大震災をきっかけとして作られました。「キミは一人じゃない 広い広い空の下 つながっているよ」という、強くやさしいメッセージが込められていて、聞いている人の背中を押してくれる曲です。特に、曲の最後には一番の見せ場になるアカペラがあり、声だけでなく心も、みんなと一つになるよう一生懸命歌いました。

日比谷 柚花

私は今年の合唱祭でアルトパートのリーダーという役目を担いました。私は人前に出ることがあまり得意ではないですが、クラスの役に立てるならとパートリーダーに立候補しました。

最初の頃は、パート全体がうまくまとまらず、いろいろな壁にぶつかりました。しかし同じパートの子たちがさまざまな面から私のことを支えてくれ、本番に近づくにつれ、パートのまとまりが出てきました。

結果は銅賞でしたが、この思い出を胸に、来年の合唱祭も頑張りたいです。



学年だより 中3

芸術鑑賞(歌舞伎)

6月7日(土)、荒川区民会館(サンパール荒川)にて歌舞伎「土屋主税」の鑑賞をしました。多くの生徒が初めての歌舞伎鑑賞となりましたが、日本の伝統芸能を間近で体験することができました。

初めての歌舞伎鑑賞 A組 赤松 蕾

今回初めて歌舞伎を鑑賞しました。最初は話の内容を理解するのが難しかったのですが、パンフレットにある物語のあらすじを見て、話の流れを掴みながら観ることができました。特に印象的だったのは、舞台上での表現法です。雪が降っている場面を表現する時は、大太鼓を使ってゆっくりと鳴らし、雪が積もっている所では、普通に歩く時より遅く歩くなどという細かい演技をしていたことから、昔の人の表現力はすごいと思いました。

また、疑問に感じたこともあります。それは、歌舞伎ではなぜ女性役も男性が演じているのかということです。家で調べてみたところ、江戸時代より歌舞伎は男性だけで演じなければならないものとされていたことがわかりました。しかし、現代では男女共同参画社会の実現が求められ、女性が舞台に出ているものもあると知りました。そのため、昔からの伝統が変化し、現代に合わせるのには良いことなのかよく考えたいと思いました。

歌舞伎場なう B組 大井 寛晃

今回の芸術鑑賞で、人生初の歌舞伎を観ました。内容は、校歌の一節にもある「赤穂浪士」でした。正直、赤穂浪士についてよく知りませんでしたが、今回の歌舞伎鑑賞で理解することができました。私は最初、歌舞伎のセリフが昔の言葉でしゃべり方も堅苦しく、ついていけなくなるのではと心配していましたが、実際は、最初に歌舞伎役者が赤穂浪士のことと、これから始まる歌舞伎の内容を面白おかしく解説してくれました。そのため、印象に残りやすく、登場人物が何をしゃべっているのか、次に何が起きてどんな展開になるのかわかりました。印象に残ったのは、坊主頭の人物の奇行です。俳諧の師匠なのに、興奮して木に登ったり、急にとぼけたり、滑稽な姿を見せ観客の笑いの的になっていました。どの時代でも笑いのツボは昔とあまり変わらないのだと思いました。

今回は歌舞伎を学びましたが、他の日本の伝統的な娯楽についても興味を持つことができました。



開演前のひととき



初めての歌舞伎にドキドキ



マスコットキャラクターと一緒に



合唱祭

7月14日(月)に中部部最後の合唱祭を迎え、各クラス心のこもった合唱を披露し、レベルの高い技術力を見せてくれました。クラス一丸となって真摯に取り組む姿は、大変眩しく、誇らしかったです。

掴み取った金賞 A組 國井 快音

今回の合唱祭では同率金賞という結果になりました。少し悔しい気持ちもありますが、練習に励んだ日々の結果が出て嬉しく思いました。練習始めは、実力的な問題や気持ちの問題など乗り越えなければいけない壁がたくさんありました。ですが、合唱指導や練習を続けていくうちに、私たちに共通の志である「金賞を掴み取る」という気持ちがみんなの中で高まりました。それから朝練や放課後練に励み、迎えた合唱祭当日、朝から声出しをして万全の状態です。本番は緊張感漂う中で、最大級の声を響かせました。

結果発表では、同率金賞と聞いて複雑な表情をしている人もいましたが、聞いてくれた人たちが、今年の合唱祭は素晴らしいと言っているのを見て、ここまで頑張ってきて良かったと思い、クラス全員で頑張れる行事を全力で楽しめて良かったと実感しました。

金賞 B組 羽田 更彩

私たち中部3年生はA、B組ともに金賞を取ることができました。私たちのクラスは、本番の約一週間前まで音程やテンポが合わず、同じところでつまづいてなかなか進まないことが多かったのですが、それでも、パートごとの練習や放課後の全体練習を重ね、少しずつ全体のまとまりが見えてきました。本番では、今までで一番気持ちのこもった合唱ができたと思います。私たちが歌った「群青」は、東日本大震災の時に作られた合唱曲です。大切な人を思う気持ちや、未来への希望に向かって生きていく力が込められています。私たちもこの歌詞の意味を感じながら、クラス全員で心をつなげて歌いました。

合唱を通して、仲間と協力することの大切さや、努力を続けることの大変さと達成感を学ぶことができました。この経験をこれからも大切にしていきたいです。



A組



B組

本番前の気合!!



熱唱



心をつなぐ

学年だより 高1

スポーツ大会

6月23日に、さいたま総合グラウンドにて初めてのスポーツ大会が開催されました。輝く太陽の下で、全クラス優勝を目指して一生懸命に取り組みました。どの競技もとても盛り上がり、素敵な思い出になったようです。

1組 石原 悠登

優勝

先日のスポーツ大会では、クラスの仲間たちと一致団結することができました。その結果、私たちのクラスが総合優勝でき、とても嬉しかったです。私はソフトボールとリレーに出場し、どちらとも1位になることができました。ソフトボールでは、連携や応援の大切さを学びました。友達がホームランを打ったときには、みんなで盛り上がるのができ、とても楽しかったです。リレーではクラスメイトが2位でバトンを渡してくれたおかげで、アンカーの私が最後に抜かすことができ1位でゴールできました。今回のスポーツ大会で築き上げたクラスでの団結力を、これから行われる建学祭や日々の学校生活にも活かしていきたいです。

4組 田中 大輝

スポーツ大会では、一人ひとりの情熱と努力が輝いていました。最初は少し緊張していましたが、チームで力を合わせる楽しさを実感しました。仲間からの掛け声や応援が力になり、全員が全力を出し切った結果、2位に入賞することができて、本当に感動しました。また、普段話す機会が少ない人とも交流が深まり、友情が芽生えるきっかけになったと感じます。このスポーツ大会は、挑戦することや仲間との絆を深めることの大切さを改めて教えてくれました。一緒に笑い合い、支え合い、頑張ったこの時間は、忘れることができない素晴らしい経験になりました。

6組 和氣 咲綾

準優勝

9組 中西 洋輝

高校生初めてのスポーツ大会では、ドッジボールで1位を取ることができ、とても嬉しかったです。試合ではみんなが全力で頑張り、最後まで諦めない姿に感動しました。自分の番がないときは他の競技に出ている友達を応援し、一緒に盛り上がる楽しさを味わうことができました。応援を通じてクラスの団結力が強まり、一体感を感じることができました。全体の順位では、惜しくも準優勝でしたが、クラスで力を合わせてここまで頑張れたことに大きな達成感を感じました。高校生活の最初のスポーツ大会としてとても良い思い出を作ることができました。次のスポーツ大会でも、今回の経験を活かし、優勝を目指して頑張っていきたいです。

今回のスポーツ大会で、私はサッカーの試合で5得点を決めることができました。しかし、それ以上にみんなで協力して勝てたことが一番嬉しかったです。パスや声掛け、守備のサポートなど、チーム全員が自分たちの役割をしっかりと果たしてくれたおかげで、思い切ってプレーすることができました。一人では絶対に達成できなかった結果だと思っています。特に、ゴール前でのプレーは声を掛け合ったり、チーム全員がゴールを決めようと積極的にシュートを打ったりと、とても気迫が溢れていました。みんなで一丸となって戦い、勝利をつかんだ瞬間はとても感動的でした。今回の経験を通じて協力することの大切さを改めて感じ、今後も良いクラスをつくっていこうと思いました。



ドッジボール



リレー



野球



応援も盛り上がりました



サッカー



学年だより 高2

研修旅行

高校2学年は6月19日～24日に北海道・沖縄・ハワイ・カナダの4コースに分かれ、研修旅行に行ってきました。各コースの様子をぜひご覧ください。

北海道コース

8組 寄高 湮音

私は研修旅行先に北海道を選びました。研修旅行中はおいしいご飯や、さまざまな観光地、バス移動など1つ1つが楽しかったです。また、自分たちで旅行に行く際には行かないような知床岬や然別湖などに行くことができたのがとても良かったです。私が一番印象に残っているのは小樽での自主研修です。私たちの班は立てていた予定通りに回ることができました。自主研修ではおいしい海鮮丼を食べたり、小樽運河を船で回る小樽運河クルーズに乗ったり、ケーキキャンドルを作ったりとさまざまな体験をしました。

この研修旅行期間は、いつもとは違う友達との顔を見たり、常に学びと初体験に溢れたとても大切な時間となりました。この研修旅行で撮った写真や思い出は、ずっと忘れないようにしていきたいです。



Boys be ambitious



メロンがおいしかったです!

沖縄コース

1組 飯野 蕾和

沖縄は美しい海と豊かな自然、そして歴史ある文化が魅力の場所です。今回の研修旅行では、沖縄県平和祈念資料館やひめゆりの塔などを訪れ、戦争の悲惨さと平和の大切さを学びました。また、慶佐次川でのカヌー体験やマングローブの観察、マリンスポーツではダイビングやビーチバレーなど、自然を全身で感じることができました。特にダイビングは、体験前は怖かったのですが、実際にやってみるとたくさんの魚と触れ合うことができ、楽しかったです。沖縄美ら海水族館では巨大なジンベエザメや美しい海の生き物たちを間近で見ることができ、沖縄の海の豊かさを実感しました。沖縄の青い海や温かい人々との触れ合いは、心に残る貴重な体験となりました。この研修旅行で得た学びや思い出を、これからの人生に活かしていきたいです。



琉球村で沖縄そばをいただきました



ダイビングへ行きます!

ハワイコース

10組 千葉 永昌

私は、研修旅行に一緒に行こうと話していた友達が急遽行けなくなったことで、研修旅行を楽しむことができたのか不安でした。そのため家族や友達にも研修旅行での不安をたくさん言っていました。しかし出発当日は家族がみんなで成田空港へ送ってくれ、空港内で面白い話や励ましの言葉をたくさんかけてくれました。また、集合後は空港で話しかけてくれた子がいて、仲良くなることができました。ハワイ到着後もその子や他の友達とずっと一緒に過ごしました。海でカヤックやカヌーをしたり、アラモアナセンターで買い物をしたりと、とても楽しい思い出になりました。どういう状況でも楽しもうとすれば楽しくなるということを実感し、そう思う気持ちが本当に大切なのだと今回のハワイ研修旅行で再確認しました。



I ♥ HAWAII



HTICIに訪問しました



カナダコース

9組 平林 怜

私は研修旅行でカナダを訪れ、自然の美しさや多文化の社会に触れることで、多くの学びを得ました。特にホームステイでは英語での会話に不安がありましたが、ホストファミリーとのやり取りを通じて、伝える力や積極性の大切さを実感しました。現地の人々の優しさや価値観の違いにも触れ、研修旅行を通じて視野を大きく広げることができました。またカナダの自然や街並みなど非常に魅力的でした。初めてのホームステイで良い経験をするので、これからの学びにつなげていきたいです。



バンクーバーで集合写真



ホストファミリーと

学年だより 高3

学級目標

高校生活の締めくくりにふさわしい一年を過ごそうと、各学級で目標を定めています。この仲間を過ごせるのも残り数カ月。各学級の学年委員より目標と込められた意味をご紹介します。

1組 「不眠不休」

蒲谷 斗真

不眠不休という言葉には、睡眠や休憩をとらずに物事に励むという意味があります。高校生活最後の1年、遅刻や欠席などをせず、毎日元気に学校に通う。そして日々の授業も居眠りしたりせず、真面目に取り組もうという意味を込めて、この不眠不休という言葉を学級目標にしました。

3組 「太陽燦々」

井内 りさ

太陽サンサンとは、太陽の明るい光が鮮やかに輝いている様子を表す言葉です。私たち[3年3組]の「3」と「サンサン」をかけて、この学級目標にしました。太陽のように、いつも明るく笑顔があふれ、元気いっぱい楽しいクラスにしたいという思いが込められています。また、太陽はまわりを暖かく照らしてくれる存在です。私たちもお互いを思いやり助け合うことで、心までぽかぽかになるような居心地の良いクラスをつくっていきましょう。

5組 「たつまき」

高橋 功太郎

(竜巻のイメージから)①スピード感を持って行動する ②一人ひとりの個性が集まって、1つの大きな力になる→団結力 ③困難を吹き飛ばす力→何があっても笑顔で吹き飛ばせ! それらに加え担任の先生の「麻結」という文字も入っています。5組はこの目標を達成し、人と人とのつながりの大切さを学び、良い卒業ができるように頑張ります!

7組 「オフ・オフ」

下藤 大璃

進路先が決まった人が多く、「オフ」の時間が増えますが、高校生活最後の1年間だからこそ気を抜くのではなく、時間を有効活用し、次のステップ(大学進学や将来)に向けて逆算して準備・挑戦するために行動に移そうという意味が込められています。今しかできない経験を大切にしながら、一人ひとりが成長できる1年にしたいです。

9組 「ゆうすけ」

ゆー有意義に2年間
うー上を向いて過ごそう
すースマイルをたくさん作って
けー街並みの絆を築こう

大高 裕美

私たち9組は、昨年度から学級目標を変えませんでした。なぜなら、私たちは昨年度の1年間でその目標を成し遂げることができなかったからです。高校生活最後の1年間で、忘れられない思い出が詰まった1年間にしたいと思います。これからの学生生活では、私たち9組の絆をさらに深め、互いに協力し合い、「一期一会」のクラスになれるように過ごしていきます。

2組 「全力疾走 ～卒業までのラストラン～」

田中 大智

基礎学が終わり、ほとんどの人が気を抜きがちになってしまっていますが、卒業試験や高大連携試験などまだまだ大事な試験もあり、行事もたくさん残っているため、全員で無事に卒業できるよう気を抜かず、協力し合って最後まで全力で駆け抜けていくために、この学級目標に決めました。

4組 「青春界限」

小暮 海優

4組は男女共に仲良く、個性豊かなクラスです。一人ひとりの個性を生かし、高校生活最後の1年間、みんなで“青春”できるようなクラスにしたいという思いから、この学級目標にしました。クラス全員でたくさんの思い出を作り、支え合い、笑って卒業できるように一日一日を大切に過ごしたいと思います。

6組 「我新笑誕(がしんしょうたん)」

安保 将樹

卒業や大学進学という目標に向かって努力を重ねるという意味の「臥薪嘗胆」と、卒業後クラス全員がそれぞれの新天地で笑って過ごすために、高校最後の1年を笑顔で楽しもうという意味を込めました。

8組 「Be together」

鈴木 彰隼

「一緒に」という意味から、高校生活最後の1年間を、クラス全員が全力で取り組み、どんなことも一緒に乗り越えていこうという思いでこの学級目標に決めました。残りの限られた時間を有意義に使えるようにクラスで団結して、行事だけでなく、日常生活も楽しく過ごせたらいいと思います。

10組 「自律」

田中 翔海

自分たちが大学生になった時にないと困る能力は何か、と考えた時に出てきたのがこの「自律」という言葉です。「自律」という言葉は自分の内面的な要素に関して、支配や制約を受けずに独り立ちすることを指します。この力を身につけられるように、1年間クラス全員で頑張っていきます。

お知らせ（建学祭関連）

決定！第61回 建学祭
スローガン&パンフレット表紙絵スローガン
際立ち

各出展団体が1つのものに焦点を当て、自分たちらしさや他にはない唯一無二となるものを表現した建学祭にしたいと考えました。また、生徒のみならず来場者とともに一緒に作り上げることで、今までの建学祭よりもさらに素晴らしさが際立つような建学祭にしていきたいという思いも込められています。

1年5組 石橋 伶奈さん



開催まで残り約1カ月。準備をさらに進めていきましょう！

行事
予定

※予定が変更になる場合があります。

September 9月

October 10月

- 1日(月) 短縮授業・避難訓練
- 2日(火) 朝礼・短縮授業
- 6日(土) 後援会委員総会②
- 8日(月) 生徒自宅学習日
- 9日(火) 前期期末試験(中等部:~11日、高校:~12日)
- 12日(金) 写生大会(中等部)
- 13日(土) 通常授業
東海大学オープンキャンパス(高2)
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) 校医相談日⑤
- スポーツ大会(高3)
- 17日(水) 専門医によるカウンセリング④
- 18日(木) 生徒自宅学習日
- 22日(月) 答案返却
- 23日(火) 秋分の日
学校説明見学会③(高校)
- 24日(水) 金曜の授業日
- 25日(木) 生徒自宅学習日(~26日)
- 27日(土) 短縮授業・保護者会
保護者による学校評価アンケート
- 29日(月) 学年集会(高1)

- 1日(水) 後期始業式 短縮授業 5・6限カット(9/27分)
- 4日(土) 総合的探究の時間 成果発表会
- 6日(月) 高1HR茶道(8組・9組)
- 7日(火) 振替休日(10/12分)
- 8日(水) 5・6限カット(10/11分) 建学祭開祭式(昼食後)
- 9日(木) 建学祭準備(~10日)
- 11日(土) 第61回建学祭(~12日)
- 13日(月) スポーツの日
- 14日(火) 建学祭閉祭式 短縮6限授業
校医相談日⑥
- 15日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 18日(土) 水泳実習②(中等部)
- 20日(月) 生徒会立会演説会(1限アリーナ/放送)
- 25日(土) 特別時程
SSH成果報告会
- 27日(月) 高1HR茶道(9組・10組)
- 28日(火) 朝礼・短縮授業
第57回剛健旅行開催式
- 29日(水) 第57回剛健旅行
- 30日(木) 生徒自宅学習日
- 31日(金) 木曜の授業日 体育祭予行演習(中等部)

編集
後記

かつての中国では宏観異常現象(一般人でも観測することができる地震の前兆シグナル)に基づいた地震予知が盛んでした。ナマズが暴れるという伝承がその代表例ですが、電磁波の乱れや「地震雲」が発生するという説まであるそうです。ただし、こうした研究は後追いで事象と大地震とを結びつけるものばかりで、「前兆はあったけれども何も起きなかった」事例を無視している点において信用できないようです(菊池聡『なぜ疑似科学を信じるのか』)▷きょうは「防災の日」。いつ来るかわからなくても備えることはできます。皆さま、ご用心あれ。(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>